

## 景況実感調査(2018年9月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適切な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 稼働日も18日と少なかったこともあり、短納期、小ロット物に動きがあった割には売上、数量共に厳しい前期末締めとなった。台風の影響もあり屋根、壁の補修関係は、ここ2～3カ月はバタバタとしそうだが、職人不足もあり施工能力に限界もあるが、カラー、GL品薄物の値戻しにはプラスに働くとの期待はできる。10月より下期スタートとなるが、実需を確実に取っていききたい。
- ② 9月は前月比横ばいと、自動車関連を中心に落ち着いてきた様子である。市況は荷動きが鈍く、在庫も上昇基調のため価格転嫁ができない状況。しばらくは価格、荷動き共に横這いの状況が続くとみている。
- ③ 9月中間本決算ということもあり、仕入れを抑制した客先が目立った。また、勢いのよかった生産も、9月は在庫調整をし、全体感として販売が鈍かった。紐付きユーザーは全般的に好調だが、店売りマーケットは伸び悩んでいる。

### 中板

- ① 製造業、建設業など総じて鋼材需要は堅調であるが、鋼板店売り市場は年初来、量的にも価格的にも低調な状態が続いている。価格面では、自動車大手の「支給材据え置き」により自動車業界に止まらず他需要業界にも影響を及ぼすだけに、店売り材の再販価格転嫁にも抵抗が強い。店売り市場全体の阻害要因にもなっており、流通の、特に中小加工業者にとっては身を削りながら今後どのように経営の舵を取るべきか悩ましいところである。

### 厚板

- ① 絶好調を続けてきた建産機の受注に若干変調の兆しがある。9月は建機ユーザーの生産調整の影響を受けて、当社の受注も減少した。産業機械については高水準の生産活動を続けているが、現在の水準がいつまで続くのかについては慎重な見極めが必要であると考えている。土木系は好調が続くがプロジェクトの端境期には受注の減少が見込まれる。

### 开形鋼

- ① シーズンイン最初の月の9月は、夏休みの前月と変わらぬ売上水準であった。期待に反しての結果は需要期入りした今後を占う。7月で市中買いスポット需要がピークアウトしたのか、従来の9月からがシーズンインという先入観を捨て去ることが必要なのか。

### I-I 开形鋼

- ① 9月の倉出しは増加し、前年同月比でも増加。需要は出件され、季節なりに見込まれる。だが、採算面では苦戦しており、今月から唱えを上げていく。

## 異形棒鋼

- ① 在庫、加工販売は順調となり、店売り分野の需要は盛り上がりつつある。しかし、先物物件は少なく、先行きの不安を感じる。

## 平鋼

- ① 荷動きは小口中心。9月に入り急に止まってしまった。荷が動かないために価格転嫁も時間がかかっている。建築需要はまだまだ来るが、市中で手配するものは限定されているのか、まとまった話は聞こえてこない。
- ② 加工部門は堅調で、納期調整をお願いせざるを得ないほど稼働している。定尺出荷は例年に比べると低調で、店売り販売は苦戦している。

## 車量形鋼

- ① 物件は少しずつ増えて来ているが、店売りは思ったほど増えて来ない状況だ。
- ② マンション、共同住宅向けの製品がやや増加。10月以降、徐々に好況になる見込み。

## 鋼管

- ① 先月比横這い。メーカー値上げ未転稼分の販価改定は、引き続き進める。
- ② 9～10月は、メーカー値上げの転嫁が進みそうである。
- ③ 土木関連の特定サイズの好調さのみで、一般管は低位横這い。

## 構造用鋼

- ① 需要動向については、大きな変化はなく、自動車関連、建設機械関連、工作機械関連は全般的に堅調な動きが続いている。半導体関連は、調整局面に入り、当面はこの局面が続くと思われる。店売りの荷動きは紐付きほど活況ではないが、堅調を保っている。市中在庫は引き続き品薄感が強く、タイトな状態となっている。市況は強含み横這いが続いている。
- ② 直需関連は、引き続き納期対応に追われている。店売りでは相変わらず引合いが旺盛ではないものの、製鋼メーカーの繁忙さがピークに近い状況で続いており、納期遅れ、引受け調整から、歯抜け在庫が散見されている。
- ③ 9月は稼働日数が少なかったため、出荷量が減少。

## 磨棒鋼

- ① 素材となる特殊鋼線材の供給は、相変わらずタイトな状況。自動車、建機向けは、相変わらず好調を維持している。内示を見ても、しばらくは高止まりの状態が続くものと思われる。小口販売については、曜日により繋閑のバラツキはあるものの、前月の反動からか大ロットの引取りもあり、計画より多い出荷となった。

## その他

### <ボルト>

- ① 線材不足のせいか材料が入ってこないとのことで、製品(ボルト)が出て来ない。この状態が年末まで続くと聞いている。

### <高位圧継手>

- ① プラント向け工事案件が少なく、しばらくは動きが悪い。

### <金属表面処理加工>

- ① 9月は紐付き、物件物とも計画通り。スポットは中旬以降、引合い、注文とも多かったが一件当たりの物量が少なく、前月比10%ダウン。10月も9月実績と同量の受注を予想。紐付き、物件物は計画通りの加工を予定しており、安定操業は維持出来そうである。